

かめやま教育通信

第26回



どう変わるの？小・中学校英語教育！

グローバル化が進み、英語によるコミュニケーション能力は、子どもたちにとって生涯にわたり必要な力になりつつあります。このような中、2020年度から小学校で、2021年度から中学校で、「新学習指導要領」が全面実施になります。小学校では外国語(英語)活動や外国語(英語)科の授業が本格的に始まり、また中学校でも、外国語(英語)科の授業に変化があります。

「新学習指導要領」では、英語教育はどのように行われるの？

【小学校3・4年生】



「聞く」、「話す」を中心に「外国語活動」を行います。英語の発音やリズムに慣れ親しむとともに、英語を使った簡単なコミュニケーションを行うことの大切さを知ったり、楽しさを感じたりする活動に取り組みます。

【小学校5・6年生】



小学校3・4年生の「外国語活動」で英語に慣れ親しみ、英語学習への意識付けを図った上で、「聞く」、「話す」の活動に加え、コミュニケーション活動を加えて「読む」、「書く」の学習を教科として行います。

【中学校】



英語での「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」の言語活動を通して、表現し合ったり伝え合ったりするコミュニケーション力を育成します。また、生徒が英語に触れる機会の充実を図り、授業を実際のコミュニケーションの場とするため、授業は英語で行うことを基本にします。

亀山市では子どもたちの英語学習を支援しています

◎小学校で「外国語活動」、「外国語科」を先行実施しています！

市では、2018年度・2019年度を移行期間として、小学校3・4年生では年間35単位時間の「外国語(英語)活動」、小学校5・6年生では70単位時間(毎朝15分×週3日の短時間学習を含む)の「外国語(英語)科」を実施しています。



◎外国語指導助手を配置するなど、英語学習の充実を図っています！

亀山市では、外国語指導助手(ALT)5人を市内すべての小・中学校に配置しているほか、2019年度から小学校英語専科教員2人を任用しています。また、今年度も昨年度に引き続き、小学校5・6年生の希望者を対象に「英語デイキャンプ in Kameyama」を8月8日(木)に実施します。

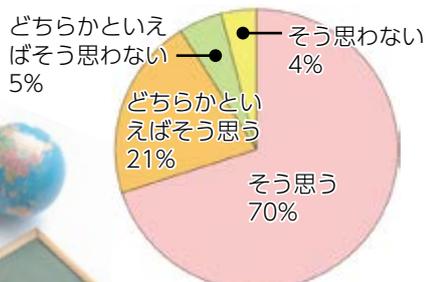


子どもたちの豊かな学びの実現のために教育支援に取り組んでいきます

以下のアンケート結果にもあるように、亀山市の子どもたちのほとんどが、「英語が話せるようになりたい」、「英語を使っているんなことをしたい」という思いを持っています。教育委員会では、未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現のために、今後も教育支援に取り組んでいきます。

Q. 英語が話せるようになりたいと思いますか？

(市内小学校6年生回答から)



Q. あなたは、英語を使って将来どのようなことがしたいですか？

(市内小学校5年生の回答から [一部抜粋])

- ・外国の人とも会話できるようになりたい。友達になりたい。
- ・英語の歌を覚えたい。
- ・仕事で使いたい。外国と仲を深めるために社会で活用したい。
- ・英語を使って、少しでも人に教えたい。
- ・外国の人に道案内や、困っているようであれば助けたい。
- ・外国に留学したい。海外旅行に行きたい。

<2018年度 県教育委員会 三重の英語教育改革加速事業 抽出アンケート結果より>

問合せ 教育委員会学校教育課教育支援グループ(☎84-5076)